

01/04/17

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-259486

(43)公開日 平成11年(1999)9月24日

(51)Int.Cl.⁸
G 0 6 F 17/30
12/00
識別記号
5 4 7

F I
G 0 6 F 15/40
12/00
15/419
3 1 0 F
5 4 7 H
3 2 0

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平10-55386

(22)出願日 平成10年(1998)3月6日

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 黒澤 治弘

東京都港区芝浦一丁目1番1号 株式会社

東芝本社事務所内

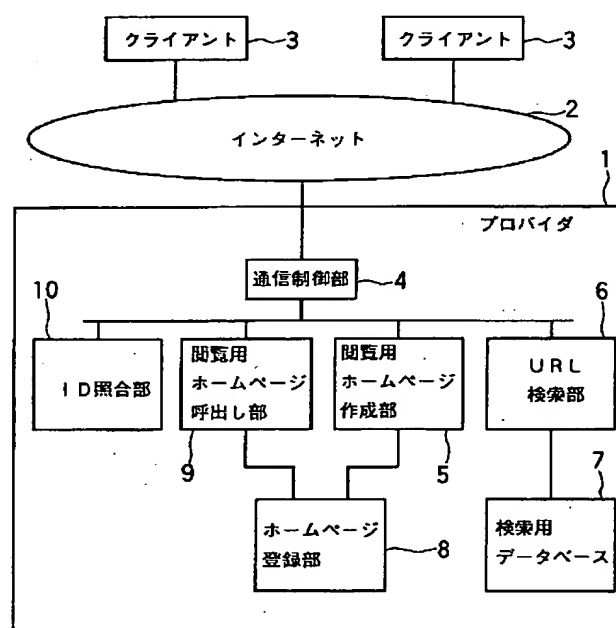
(74)代理人 弁理士 三好 秀和 (外3名)

(54)【発明の名称】 閲覧用ホームページ作成方法及び閲覧用ホームページ作成装置

(57)【要約】

【課題】 プロバイダ側にユーザ固有の閲覧用ホームページを作成して登録させ、どこにいても多数のURLから特定の情報を取り出せるようにする。

【解決手段】 クライアント3からの閲覧用ホームページ作成要求を受信すると、インターネットプロバイダ1のサーバが自マシンに接続されている検索用データベース7又は検索エンジンを利用して検索サービス会社の検索用データベースを参照してクライアントの要求する閲覧項目に該当する情報を提供しているホームページのURLリストを作成し、このURLリストにリストアップされているそれぞれのURLを該当するホームページとハイパーリンクさせた閲覧用ホームページ30を作成して登録する。以後は、クライアントは、登録された閲覧用ホームページ30にアクセスすることによって、そこに登録されているURLリストを利用して様々なページを開いて所要の情報を入手できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 クライアントからの閲覧用ホームページ作成要求に対して、検索用データベースを参照して前記クライアントの要求する閲覧項目に該当する情報を提供しているページのURLリストを作成し、

当該URLリストにリストアップされているそれぞれのURLを該当するページとハイパーリンクさせた閲覧用ホームページを作成してサーバに登録することを特徴とする閲覧用ホームページ作成方法。

【請求項2】 前記閲覧用ホームページの登録に当たり、IDコードを発行することを特徴とする請求項1に記載の閲覧用ホームページ作成方法。

【請求項3】 クライアントとの間のインターネット通信を行う通信制御部と、

多数のページのURLリストに登録している検索用データベースと、

前記通信制御部が受け付けたクライアントからの閲覧用ホームページ作成要求に対して、前記検索用データベースを検索して該当する情報を提供しているページのURLリストを抽出するURL検索部と、

前記URL検索部が抽出した前記URLリストにリストアップされているそれぞれのURLを該当するページとハイパーリンクさせた閲覧用ホームページを作成する閲覧用ホームページ作成部と、

前記閲覧用ホームページ作成部の作成した閲覧用ホームページを登録するホームページ登録部とを備えて成る閲覧用ホームページ作成装置。

【請求項4】 請求項3に記載の閲覧用ホームページ作成装置において、IDコードを発行するIDコード発行部を備え、

前記ホームページ登録部は、当該IDコード発行部が発行したIDコードを前記閲覧用ホームページと対応させて登録することを特徴とする閲覧用ホームページ作成装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は閲覧用ホームページ作成方法及び閲覧用ホームページ作成装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年インターネットの進展によって、世界の各地における政治、経済、社会のほとんどすべてのジャンルにわたる貴重な情報を家庭や職場のパーソナルコンピュータからいわゆるWWWブラウザを利用して取得することができるようになっていく。

【0003】クライアント、特に個人ユーザがこのようなWWWブラウザを使用してインターネットにアクセスし、自分の必要としている情報を入手しようとする場合、契約しているインターネットプロバイダのサーバに回線を接続し、URLを指定してある会社、団体その他の組織のホームページにアクセスし、そのホームページ

に呈示されているチャンネルから自分の得たい情報に関連するチャンネルを選択することにより、チャンネルごとにハイパーリンクを形成しているURLに移行し、そのページを開くか、そこでもハイパーリンクを形成している別のURLがあればそれに移行してページを開くという手順を繰り返し、目的の情報を提供しているページに到達するか、通常、代表的なインターネットサービス会社のホームページに設けられている検索サービス会社の検索エンジンを利用して、キーワードを入力し、検索結果としてリストアップされる多数の候補の中から、目的の情報を提供しているページのURLを見つけだし、検索結果の各候補ごとにハイパーリンクを形成しているURLのページに移行する手順を繰り返すことになる。

【0004】また、WWWブラウザによっては、ブックマーク機能をあらかじめ搭載していて、一度アクセスしたページのURLにブックマークを付与する操作を行うことによって自マシンのファイルに自動的に登録しておけば、次の機会にも同じページにアクセスしようとする際、このブックマークを指定することによって自動的にURLを発行してそのページにアクセスできるようにしたり、あるいはアクセス履歴を自動的に記憶してゆき、再度ブラウザを開いたときに、この履歴リストを開いてそこから得たい情報を提供しているページのURLを指定することにより、そのURLのページにアクセスできるようにしたりしている。

【0005】他方、インターネットサービス会社ではそのホームページに検索サービス会社の検索エンジンを利用できるようにし、キーワードを入力することによって検索エンジンを利用してキーワードを含んでいるホームページをリストアップしてくれるものがあり、例えば、新聞各社の政治欄を読みたいと思えば、「新聞」and「政治」のキーワードを入力することによって新聞各社の政治欄のURLリストを取り出すことができる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】ところが、このような従来の自マシンに搭載しているWWWブラウザの機能を利用してユーザが自分で定期的に取り出したい情報を提供してくれるページのURLリストをブックマーク機能により、あるいは履歴トレース機能によって作成し、再度そのリストからURLを指定して最新の情報を取り出そうとする場合、ブラウザが異なれば利用することができず、またマシンが異なっても利用することができず、例えば、出先で利用するというようなことができない問題点があった。

【0007】また、後者のように検索エンジンを利用する場合、目的とする情報を提供してくれるページのURLだけに絞り込もうとすると、入力するキーワードに工夫をする必要があり、かなりの階層まで深く入り込まなければ目的とするURLグループを抽出することができず手順が煩わしい問題点があり、またせっかく抽出した

URL グループを保存する機能がないのでアクセスの都度と同じ手順を繰り返さなければ必要な情報を入手できない煩わしさがある問題点があった。

【0008】本発明はこのような従来の問題点に鑑みてなされたもので、インターネットプロバイダ側のサービスとして、クライアントからの要求によってサーバ側にクライアント個々の必要とする情報を提供しているページのURL リストをそれにリストアップされているURL のページにハイパーリンクさせた形の閲覧用ホームページを作成して保存しておき、クライアントはその閲覧用ホームページにアクセスすることによってURL リストを利用して、いつでも、どこでも所要の情報を取り出すことができるようにする閲覧用ホームページ作成方法及び閲覧用ホームページ作成装置を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明の閲覧用ホームページ作成方法は、クライアントからの閲覧用ホームページ作成要求に対して、検索用データベースを参照して前記クライアントの要求する閲覧項目に該当する情報を提供しているURL リストを作成し、当該URL リストにリストアップされているそれぞれのURL を該当するホームページとハイパーリンクさせた閲覧用ホームページを作成してサーバに登録するものである。

【0010】請求項1の発明の閲覧用ホームページ作成方法では、クライアントからの閲覧用ホームページ作成要求を受信すると、インターネットプロバイダのサーバが閲覧用ホームページ登録・閲覧用ホームページを送信し、さらにクライアントからの検索要求に対して自マシンに接続されている検索用データベース又は検索エンジンを利用して検索サービス会社の検索用データベースを参照してクライアントの要求する閲覧項目に該当する情報を提供しているページのURL リストを作成し、このURL リストにリストアップされているそれぞれのURL とハイパーリンクさせた閲覧用ホームページを作成してサーバ側に登録する。

【0011】したがって、クライアントがこの作成された閲覧用ホームページのURL を指定してアクセスすることによって、URL リストを利用してそれにハイパーリンクされている様々なホームページを開いて所要の情報を入手することができるようになる。

【0012】請求項2の発明は、請求項1の閲覧用ホームページ作成方法において、前記閲覧用ホームページの登録に当たり、IDコードを発行するものであり、クライアントが自分で作成した閲覧用ホームページにアクセスするにもIDコードの照合を行うことによってセキュリティを向上させる。

【0013】請求項3の発明の閲覧用ホームページ作成装置は、クライアントとの間のインターネット通信を行う通信制御部と、多数のホームページのURL リストを

登録している検索用データベースと、前記通信制御部が受け付けたクライアントからの閲覧用ホームページ作成要求に対して、前記検索用データベースを検索して該当する情報を提供しているホームページのURL リストを抽出するURL 検索部と、前記URL 検索部が抽出した前記URL リストにリストアップされているそれぞれのURL を該当するホームページとハイパーリンクさせた閲覧用ホームページを作成する閲覧用ホームページ作成部と、前記閲覧用ホームページ作成部の作成した閲覧用ホームページを登録するホームページ登録部とを備えたものである。

【0014】請求項3の発明の閲覧用ホームページ作成装置では、請求項1の発明の閲覧用ホームページ作成方法を実施して、通信制御部がクライアントからの閲覧用ホームページ作成要求とその必要としている閲覧事項のキーワードを受信すると、URL 検索部がインターネットプロバイダのサーバが自マシンに接続されている検索用データベース又は検索エンジンを利用して検索サービス会社の検索用データベースを参照してクライアントの要求する閲覧項目に該当する情報を提供しているホームページのURL リストを抽出し、閲覧用ホームページ作成部がこのURL リストにリストアップされているそれぞれのURL とハイパーリンクさせた閲覧用ホームページを作成し、ホームページ登録部がこの閲覧用ホームページをサーバマシンに登録する。

【0015】したがって、クライアントはこの閲覧用ホームページにそのURL を指定してアクセスすれば、開かれるURL リストを利用してそれにリストアップされている様々なURL のページを開いて所要の情報を入手することができるようになる。

【0016】請求項4の発明は、請求項3の閲覧用ホームページ作成装置において、さらに、IDコードを発行するIDコード発行部を備え、前記ホームページ登録部が当該IDコード発行部の発行したIDコードを前記閲覧用ホームページと対応させて登録するようにしたものであり、クライアントにIDコードを入力させることによって正規のクライアントでなければ該当する閲覧用ホームページを開かせないようにして、セキュリティ性を持たせる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図に基づいて詳説する。図1に示すように、インターネットプロバイダのサーバ1には、インターネット2に接続して多数のクライアント3と通信を行うための通信制御部4、本発明を実現するための機能要素として閲覧用ホームページ作成部5、URL 検索部6、URL 検索用データベース7、閲覧用ホームページ登録部8、閲覧用ホームページ呼出し部9、ID照合部10を備えている。

【0018】閲覧用ホームページ作成部5はあらかじめ用意してある閲覧用ホームページ作成のためのホームペ

ージをクライアント3に送信し、クライアント3からの入力によって順次にそのクライアント用の閲覧用ホームページを作成し、ホームページ登録部8に登録する部分である。

【0019】検索用データベース7にはいわゆるインターネットイエローページのような情報と共に各サイトの提供する情報をキーワード化して当該サイトのURLと対応付けて保存している。そしてURL検索部6はクライアント3からのキーワード入力に対してこの検索用データベース7を検索して該当するURLを抽出する部分である。ホームページ登録部8は、通常、プロバイダが接続契約者にホームページ用領域として提供しているメモリ領域を利用したり、あるいは別のメモリ領域を提供してそこに閲覧用ホームページを登録する。

【0020】閲覧用ホームページ呼出し部9は、クライアント3からの閲覧用ホームページの呼出し要求に応じて、ホームページ登録部8に登録されている当該クライアント3の閲覧用ホームページを呼出してクライアント3に提供する部分である。

【0021】ID照合部10は当該閲覧用ホームページ作成・提供サービスを利用できる正規のユーザであることをIDコードによって照合する部分である。

【0022】次に、上記の構成の閲覧用ホームページ作成装置による閲覧用ホームページの作成手順、また閲覧用ホームページによる情報収集手順について説明する。図2はクライアント3側の閲覧用ホームページ登録・閲覧手順を示すフローチャート、図3はプロバイダ1側の手順を示すフローチャートである。

【0023】クライアント3がプロバイダ1に対して閲覧用ホームページを作成して利用しようとする場合、インターネットブラウザをまず開き（ステップS11）、当該サービスを提供しているプロバイダ1に対して通信回線の接続手続を実行する（ステップS12）。

【0024】回線が確立されれば、ブラウザを利用して当該閲覧用ホームページサービスを提供しているURLを入力すると、図4に示すようなサービスサイトのホームページ11が開かれる（図2のステップS13、図3のステップS31）。

【0025】このホームページ11において閲覧用個人別ホームページ登録・閲覧サービスのボタンをクリックすれば、これにリンクしている図5に示すような登録・閲覧ページ12が展開される。そこで、クライアント3があらかじめ入手しているIDコード13とパスワード14を入力し、登録ボタン15をクリックした場合（図2におけるステップS14、S15）、閲覧用ホームページ作成要求がクライアント3からプロバイダ1側に送られ、これを受信したプロバイダ1側では閲覧用ホームページ作成要求発生と判断し、またID照合を行い、照合成立によって、図6に示すような閲覧用ホームページ作成画面17をクライアント3に送信する（図3におけ

るステップS31～S33）。

【0026】クライアント3は閲覧用ホームページ作成画面17に対して、タイトル欄18に自分の収集したい情報のタイトルを入力し、またキーワード入力欄19にこのような情報を特定するためのキーワードを入力する。以下、各新聞社の新聞の政治欄の情報を収集する場合について説明する。この場合、タイトル欄には「各社新聞の政治欄」と入力し、キーワード入力欄19にはまず大分類的に「新聞」と入力する（図2におけるステップS16）。

【0027】これに対して、プロバイダ1側では、URL検索部6がキーワード「新聞」に基づいて検索用データベース7を検索して、新聞各社のホームページのURLを抽出し、検索結果を検索結果欄20に表示させる。ここでは、AAAA、BBBB、CCCCが抽出されたことを示している（図3におけるステップS34）。

【0028】ここでさらに、候補としてリストアップされた新聞社のうち、例えば、AAAAに対してクリックすれば、このAAAA新聞のURLを指定してそのホームページを展開することになる。

【0029】そしてそのAAAA新聞のホームページにおいて呈示されている政治欄の選択肢があれば、それをクリックすることによって、図7に示すように政治欄のページに移行してそのページ21を表示し、同時にそのページのURLを取得してURL欄22に表示する。

【0030】クライアント1がこのページを登録したいと思えば、「登録」ボタン23をクリックすることによって、登録ホームページリスト欄25に当該URLのタイトル「AAAA新聞の政治欄」を登録し、同時にこのタイトルにハイパーリンクを結んでそのURLが登録される。なお、いったん登録したページをリストから削除したい場合には「削除」ボタン26をクリックし、閲覧用ホームページの内容を変更したい場合に「変更」ボタン27をクリックすることになる。

【0031】以下、同じようにCCCC新聞の政治欄の登録も行う。そして得たい情報を提供しているページのURLリストが作成できれば、「登録」ボタン28をクリックすることによって、図9に示すような閲覧用ホームページ30が最終的に作成されてプロバイダ1のホームページ登録部8に登録されることになる（図2におけるステップS17、S18、図3におけるステップS35～S37）。

【0032】次に、閲覧用ホームページを利用する場合の手続について説明する。クライアント3側では、通常のインターネットへのアクセス手続によって閲覧用ホームページサービスURLにアクセスする（図2におけるステップS11～S13）。これに対してプロバイダ1からは図4に示したホームページ11をクライアント3に送信する。

【0033】そこで、ユーザが閲覧用ホームページの作

成・サービス要求を行うと、図8に示す閲覧用ホームページ登録・閲覧ページ12を送信する。

【0034】この閲覧用ホームページ登録・閲覧ページ12に対してクライアント3がIDコード、パスワードを入力し、閲覧ボタン16をクリックすれば、閲覧要求をプロバイダ1側に送信することになる（図2におけるステップS14、S19）。

【0035】プロバイダ1側ではID照合、パスワード照合によって正規の登録ユーザであることを確認すれば、当該ユーザのIDコードに基づいて閲覧用ホームページのURLを特定し（図3におけるステップS31、S39）、該当する閲覧用ホームページ30をホームページ登録部8から呼出してクライアント3に送信する（図3におけるステップS40）。

【0036】クライアント3側では、図9に示すような閲覧用ホームページ30を受信し、このページ画面において、登録ホームページリスト欄25に登録されている項目を指定すれば（図9では、CCCC新聞の政治欄を指定）、これにハイパーリンクされているCCCC新聞の政治欄ページのURL31に移行してそのページの情報を右欄32に表示する（図2におけるステップS20）。

【0037】続いてAAAA新聞の政治欄を見なければ、同じように登録ホームページリスト欄25のAAAA新聞の政治欄をクリックすればよい。

【0038】そして閲覧を完了すれば「完了」ボタン28をクリックすればこのサービスの利用が終了する（図2におけるステップS21）。

【0039】なお、図3のフローチャートにおけるステップS38の「通常のインターネットサービス」とは、ユーザがURLを指定して、あるいは1つのページ内でハイパーリンクを形成している項目をクリックした場合にそのURLのページにアクセスさせる、いわゆるインターネットブラウジングのサービスのことをいっており、上記の閲覧用ホームページ30の提供の後には、クライアント3側がそのホームページ30から登録ホームページリスト欄25の各項目をクリックした場合に、このサービスによってハイパーリンクを張っているURLのページへのアクセスを可能とするのである。

【0040】なお、上記の実施の形態ではプロバイダ1に検索用データベース7を装備させているが、閲覧用ホームページの作成画面17に検索サービス各社の検索エンジンのURLとハイパーリンクを張った検索窓を用意し、これにキーワードを入力することによって外部の検索サービスを利用して検索を行い、最終的に図9に示すような登録ホームページリスト25を作成する構成とすることもできる。

【0041】また、検索用ホームページにはプロバイダが用意するデザイン機能（画面フォーマット、文字、背景色、静止画など）を使用してユーザが独自のデザイン

のホームページ画面を作成できるようにすることも可能である。

【0042】また情報のダウンロードはURLごとにしても、必要なURLをチェックしてそれらのページの情報を一括してダウンロードし、ユーザ側のマシン内でページ展開をする構成であってもよい。

【0043】

【発明の効果】以上のように請求項1の発明の閲覧用ホームページ作成方法によれば、クライアントがこの作成された閲覧用ホームページにURLを指定してアクセスすることによって、URLリストを利用してそれにハイパーリンクされている様々なホームページを開いて所要の情報を入手することができるようになり、この閲覧用ホームページがプロバイダ側に用意されているので、ユーザがいつ、どこからでもアクセスして必要な情報を得ることができる。

【0044】請求項2の発明によれば、請求項1の閲覧用ホームページ作成方法において、閲覧用ホームページの登録に当たり、IDコードを発行するので、クライアントが自分で作成した閲覧用ホームページにアクセスするにもIDコードの照合を行うことによってセキュリティを向上させることができる。

【0045】請求項3の発明の閲覧用ホームページ作成装置によれば、請求項1の発明の閲覧用ホームページ作成方法を実施して、プロバイダ側にユーザのほしい情報を提供してくれるページのURLリストを登録した閲覧用ホームページを作成することができ、またこの閲覧用ホームページを利用してそれにリストアップされている様々なページを開いて所要の情報をいつ、どこからでも入手することができるようになる。

【0046】請求項4の発明によれば、請求項3の閲覧用ホームページ作成装置において、さらに、IDコードを発行するIDコード発行部を備え、ホームページ登録部が当該IDコード発行部の発行したIDコードを前記閲覧用ホームページと対応させて登録するようにしたので、クライアントにIDコードを入力されることによって正規のクライアントでなければ該当する閲覧用ホームページを開かせないようにして、セキュリティを持たせることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1つの実施の形態のシステム構成を示すブロック図。

【図2】上記の実施の形態におけるクライアントの閲覧用ホームページ登録・閲覧手順を示すフローチャート。

【図3】上記の実施の形態におけるプロバイダの閲覧用ホームページ登録・閲覧手順を示すフローチャート。

【図4】プロバイダのホームページ画面の一例を示す説明図。

【図5】閲覧用ホームページ登録・閲覧初期画面（登録選択画面）の一例を示す説明図。

【図6】閲覧用ホームページ作成画面の一例を示す説明図。

【図7】閲覧用ホームページ作成画面における検索結果の表示画面の一例を示す説明図。

【図8】閲覧用ホームページ登録・閲覧初期画面（閲覧選択画面）の一例を示す説明図。

【図9】閲覧用ホームページ閲覧画面の一例を示す説明図。

【符号の説明】

1 プロバイダ

2 インターネット

3 クライアント

4 通信制御部

5 閲覧用ホームページ作成部

6 URL検索部

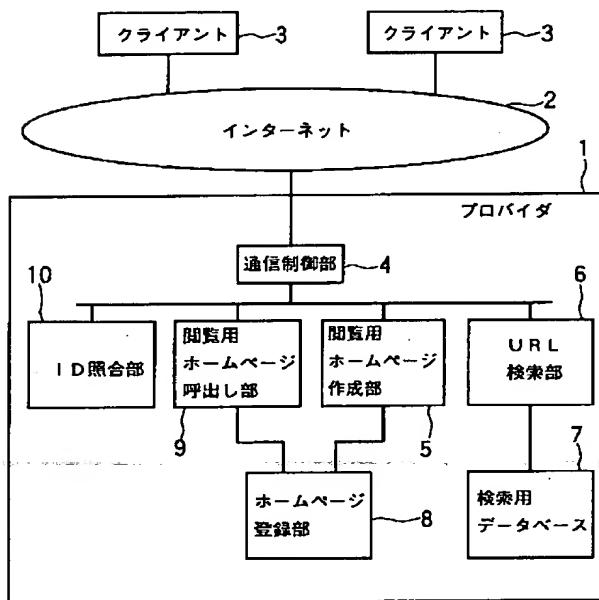
7 検索用データベース

8 ホームページ登録部

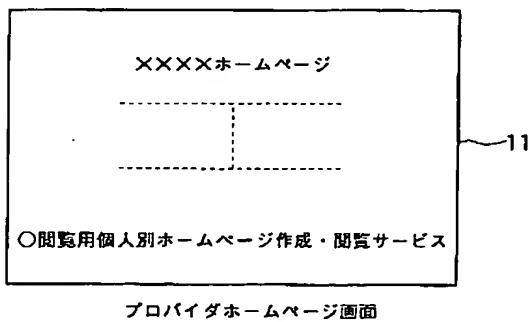
9 閲覧用ホームページ呼出し部

10 ID照合部

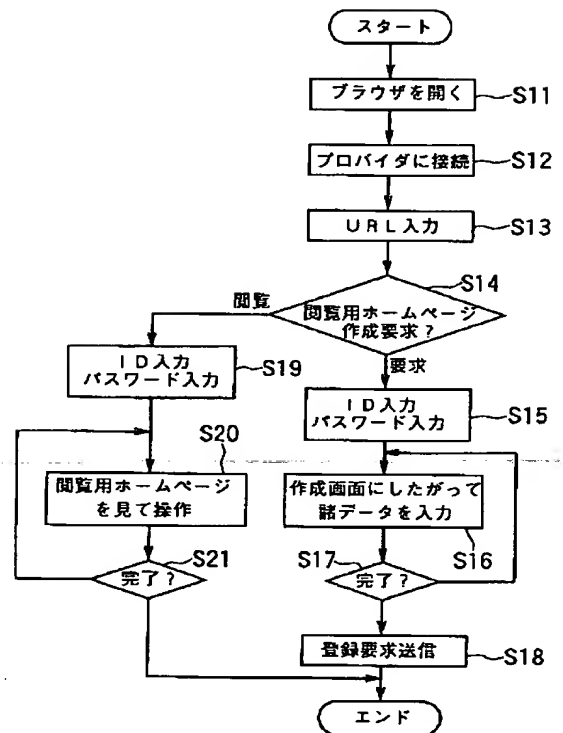
【図1】



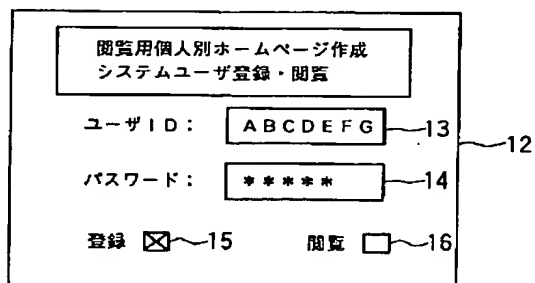
【図4】



【図2】

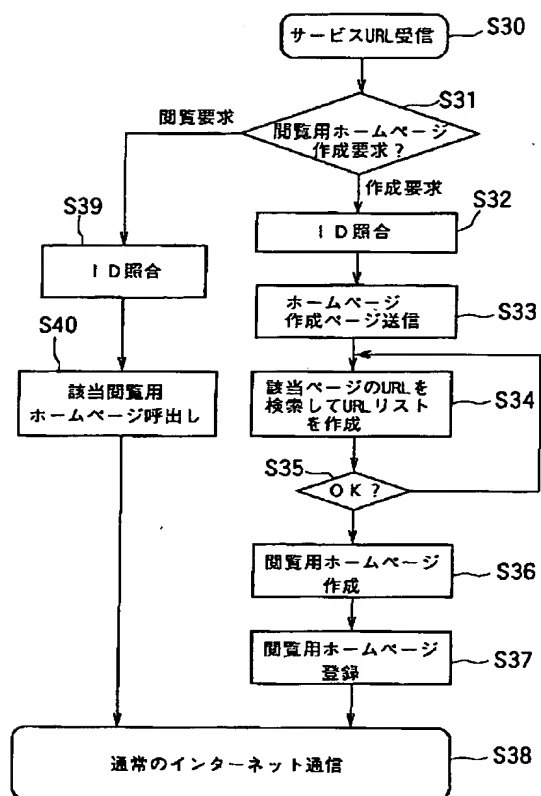


【図5】



ユーザ登録・閲覧初期画面(登録選択)

【図3】



【図6】

URL入力 http://..... 22

タイトル: 各社新聞の政治欄 18

登録ホームページ 19

登録ホームページ検索キーワード

新聞

検索結果 20

・AAAA ・BBBB

・CCCC

◇登録 ◇削除 ◇変更

○完了

個人別ホームページ作成画面1

【図7】

URL入力 http://www.aaaa.co.jp/seiji.html 22

タイトル: 各社新聞の政治欄 18

AAAA新聞の政治欄 21

登録ホームページ 25

□AAAA新聞の政治欄

◇登録 ◇削除 ◇変更

○完了

23

26

27

28

個人別ホームページ作成画面2

【図 8】

閲覧用個人別ホームページ作成
システムユーザ登録・閲覧

ユーザID: 13

パスワード: 14

登録 ☐ 15 閲覧 ☒ 16

ユーザ登録・閲覧初期画面（閲覧選択）

【図 9】

URL入力 31

タイトル: 18

登録ホームページ

☐ AAAA新聞の政治欄

☐ CCCC新聞の政治欄

☐

☐

☐ 完了 28

CCCC新聞の政治欄

個人別ホームページの閲覧画面